

自動運転バスの実証実験がスタートしました！

～ 川崎生命科学・環境研究センターで出発式を行いました ～

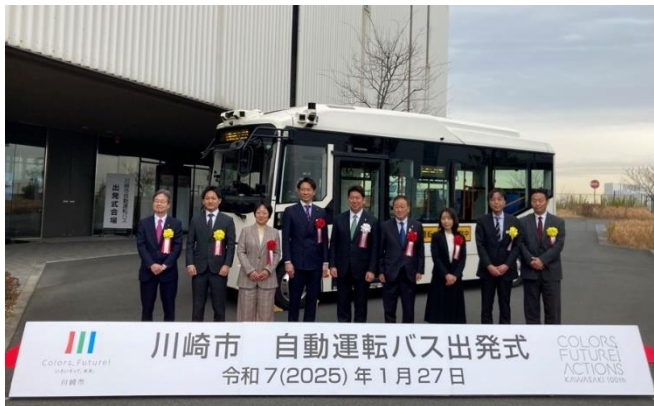
川崎市では、全国に先駆けて、自動運転レベル4のシステムを搭載したティアフォー社（愛知県名古屋市）製 Minibus2.0 を令和6年12月25日（水）に納車し、現在、川崎鶴見臨港バスが路線バスとして営業運行を行っている「大師橋駅（川崎市川崎区）～天空橋駅（東京都大田区）」及び「川崎駅～市立川崎病院（川崎市川崎区）」の2ルートにおいて、令和9年度の自動運転バス（レベル4）の実装を目指した実証実験を令和7年1月27日（月）から開始しました。（今年度の自動運転のレベルは「2 実証実験の概要」を参照）
また、同日に、関係者をお招きし、川崎生命科学・環境研究センターで出発式を行いました。

本実証実験は、交通量や大型車の混入、路上駐車が多い都市部ならではの道路状況が自動運転バスの走行に与える影響を検証し、運転手不足などの課題解決や都市の利便性の維持、都市部での自動運転レベル4実装に関するノウハウを全国に横展開するモデルの構築に向けた重要な一歩となります。

- ※レベル4：自動運転化レベルの定義において、システムが全ての動的運転タスク及び作動継続が困難な場合への応答を限定領域において実行するもの（国土交通省：自動運転車の安全技術ガイドライン引用）
- ※レベル2：自動運転化レベルの定義において、システムが縦方向及び横方向両方の車両運動制御のサブタスクを限定領域において実行するもの（国土交通省：自動運転車の安全技術ガイドライン引用）

1 出発式

実証実験の開始日である令和7年1月27日（月）に、川崎生命科学・環境研究センターで出発式を行いました。自動運転レベル4の実装を加速させることを目的に設置した「川崎市レベル4モビリティ・地域コミッティ」の関係者などが出席し、川崎市市長とともに自動運転バスに試乗しました。また、これまで自動運転とSDGsについて学んできた市立殿町小学校5年生の代表児童から、学習内容や取組への期待を発表しました。



【関係者との記念写真】

写真左から

- ①株式会社京三製作所
代表取締役社長 國澤 良治
- ②株式会社ティアフォー
執行役員 CSO 三好 航
- ③国土交通省
関東運輸局長 藤田 礼子
- ④川崎市議会
議長 青木 功男

写真中央から

- ⑤川崎市
川崎市市長 福田 紀彦
- ⑥大田区
大田区長 鈴木 晶雅
- ⑦経済産業省
関東経済産業局産業部
担当次長 今野 順子
- ⑧川崎鶴見臨港バス株式会社
取締役社長 野村 正人
- ⑨A-Drive 株式会社
代表取締役社長 岡部 定勝



【自動運転バスが走る様子】



【殿町小学校の児童との記念写真】

2 実証実験の概要

●羽田連絡線：大師橋駅（川崎市川崎区）～天空橋駅（東京都大田区）

レベル：レベル2で運行（一部区間は手動）

期間：令和7年1月27日（月）～30日（木）、2月4日（火）～7日（金）

※令和7年1月27日（月）は、川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）から天空橋駅の往復



ポイント

都道府県をまたぐルートは全国初！

- ・車両側で信号情報を取得しながら走行する信号連携を実施（キングスカイフロント交差点）

●川崎病院線：川崎駅～市立川崎病院

レベル：全区間レベル0（完全手動）で運行 ※レベル0：運転者が全ての動的運転タスクを実行

期間：令和7年2月1日（土）～2月2日（日）



ポイント

多くの人が行き交う 川崎駅前を走るルート！

- ・令和7年度の実証実験に向けて、センサー類を起動しながら有人運行を行い、走行データを蓄積
- ・駅前でも多くの方に自動運転バスを見ていただくことで、社会受容性を向上

●車両：ティアフォー社製 Minibus 2.0



ポイント

自動運転レベル4のシステムを搭載した 最新型 EV 車両で走行！

- ・従来モデルと比較し、バッテリーの強化による航続距離の向上や複数のシステムにより冗長性が向上した最新車両で実証実験を実施
- ・本車両の納車及び公道での走行は全国初

3 一般向け試乗会

令和7年1月28日（火）～2月7日（金）、一般向け試乗会を開催します。

【羽田連絡線】

日程：令和7年1月28日（火）～1月30日（木）、2月4日（火）～7日（金）

時間：9時～16時（1日あたり7便）

【川崎病院線】

日程：令和7年2月1日（土）～2月2日（日）

時間：9時～16時（1日あたり14便）

事前予約制：令和7年1月15日（水）から、市 HP にて予約受付中（先着順）

市 HP <https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000167580.html>

※羽田連絡線は残席がないため、キャンセル発生時のみ予約可能



問合せ先

川崎市まちづくり局交通政策室 藤島

電話 044 - 200 - 2762